

## 公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 生物資源科学部 応用生物科学科 食品醸造グループ (秋田キャンパス)
3. 専門分野 食品科学分野  
食品科学に関する研究の経験と業績を有し、学部生及び大学院生の教育・研究指導に積極的に取り組む意欲があり、食品科学の研究を推進し、その実用化にも熱意のある人材を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 食品科学概論、食品製造学、化学生物学実験 (分担)、応用生物科学実験 (食品科学分野)、  
応用生物科学研究室実験 (食品科学分野)、卒業論文 等  
(大学院) 食品機能・評価論 (分担)、生物資源科学演習 (修士・博士)、  
生物資源科学特別研究 (修士・博士) 等
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または採用日までに取得見込みであること  
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること  
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること  
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2025年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制 (本学給与規程による)  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制 (再任回数に制限なし。勤務成績、業務遂行の目標及び計画等により判断する。)  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書 (本学所定の様式1による。\*)  
(2)研究業績書 (本学所定の様式2による。\*) 学術論文は、①学術誌論文 (査読付き)、  
②国際会議、発表論文 (査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編  
に○をつけてください。  
(3)主要論文 5編 (コピー可)  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1000 字程度)  
(5)教育に対する抱負 (1000 字程度)  
(6)研究・地域貢献に対する抱負 (1000 字程度)  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注) \* 印: 履歴書 (様式1) 及び研究業績書 (様式2) については、  
ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 2024年9月4日 (水) 必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接  
(2)第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接  
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。  
※第一次選考の学部選考委員会による面接時に授業担当能力を評価します。  
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先  
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438  
秋田県立大学生物資源科学部 応用生物科学科 小林 正之  
TEL: 018-872-1596 (ダイヤルイン)、E-mail: makoba@akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「食品科学分野教授応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、  
環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

[https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317\\_koudou02.pdf](https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf))

## 今回の公募で求める人材像

応用生物科学科 食品醸造グループ（食品科学分野）では、食品素材に代表される生物資源の利活用に関する新規技術の開発やその食品製造技術への応用、食品が持つ機能性やその評価、さらに食品関連産業の振興を目指した教育・研究を行っています。

本公募では、食品科学に関する研究の経験と業績を有し、学部生及び大学院生の教育・研究指導に積極的に取り組む意欲があり、公設試験研究機関や企業との共同研究を推進し、地域貢献にも熱意のある人材を求めます。

各領域に関する具体的な人材像は次のとおりです。

### [教育]

本学科のディプロマポリシーを十分に理解し、学生が幅広い知識や柔軟な思考力を獲得するために、食品科学分野に関連する基礎から応用までの知識を通して、実験・実習・講義および卒業研究・大学院研究の指導に向き合い、熱心に取り組む人材を求めます。

### [研究]

食品や食品素材に高い付加価値を与える独創的な発想や先端的な技術を取り入れた研究に積極的に取り組むことにより、食品関連産業に新展開をもたらす成果が期待できる人材等、健康的な食生活に資する生物資源の有効利用に関する研究に尽力できる人材を求めます。

### [地域貢献]

秋田県の豊富な食品素材に新しい価値を付与し、公設試験研究機関や企業と連携し、共同研究することにより、県内食品関連産業を牽引し、活性化に寄与する人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

**応用生物科学科 大講座制グループ構成**

基本方針：生物関連産業の発展に貢献できるよう、微生物から動物や植物に至るまで生物全般を対象に生命現象を解明し、生物資源をより高度に利用することを目指す。

**応用生物科学科****微生物機能グループ****微生物の持つ機能解明とその応用**

- ・放線菌からの抗生物質の探求と放線菌の持つセルラーゼ遺伝子の産業利用
- ・微生物が生産する D-アミノ酸と D-アミノ酸代謝関連酵素の機能解析
- ・昆虫—微生物間の必須共生関係の遺伝子レベルでの解析とその応用
- ・家畜腸内細菌叢の網羅的解析と腸内有用菌増殖に関する研究
- ・キノコの子実体形成の分子機構の解析とキノコ育種への応用

**動物機能グループ****動物の分子細胞生物学的基礎研究とその応用**

- ・哺乳動物の発生機構の解明と家畜生産・再生医療への応用に関する研究
- ・ホルモン分泌細胞と癌検査薬に関する研究
- ・癌細胞の運動・浸潤機構の解明と癌転移抑制に関する研究
- ・喘息症状の緩和に寄与する粘液ムチンの産生制御に関する研究
- ・小動物をモデルとした組織再生に関する研究

**植物機能グループ****植物がつくる機能性物質の構造と機能の解明及びその応用**

- ・植物がつくる生理活性物質に関する酵素とその遺伝子の解析
- ・植物に含まれる健康機能成分の解明に関する研究
- ・イネがつくる鉱物、ケイ酸ガラス形成機構の解明
- ・薬のもととなる植物由来の物質の探求とそれの化学合成による生産
- ・植物ホルモンの生合成制御に関する研究

**食品醸造グループ****食品および酒類に関する研究とその応用**

- ・嗜好性に優れた減塩食品の開発に関する研究
- ・食品素材の特性解明及び品質評価とその応用
- ・難消化性米の有効利用に関する研究
- ・原料米の精米により変動する清酒成分に関する研究
- ・醸造酵母の機能解析とその応用
- ・新規醸造酵母の育種に関する研究